
憂鬱な雨の日

考える人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

憂鬱な雨の日

【Nコード】

N2989H

【作者名】

考える人

【あらすじ】

雨の日に憂鬱になった、誰かのために作った詩です。

さっきまで小鳥の鳴き声が聞こえてた
けれど今は、どしゃ降りの雨

心に叩きつけられるは、無感情な水の粒
気の済むまで降ってくれ
少し休みたい気分だからさ

少し外に出てみて
びしょ濡れになって空を見上げる自分
想像してみたけど
やっぱりサマになってないな

思い出せないな
初めて手を繋いだ時のときめきは
今もこんなに心を震わすのに

その時、君が見せた
心に焼き付けたはずの照れ笑い
ぼんやりとしか浮かばない

運命はほんと、よく出来てるね

あのタイミング

やむなしの理由で、別れを迫られた二人

理不尽な世の中に振り回された

愛する二人の悲劇

そう思うことが出来たら、素直に涙を流せるのに

少し外に出てみて

びしょ濡れになって空を見上げる君

想像してみたけど

どちらにしても、悲しい叫びが湧き上がるだけ

思い出せないな

言葉じゃ伝わらないからって

何もせずに生きていた僕を

穏やかに、軽やかに

ただ包み込むような君の微笑み

ぼんやりとしか浮かばない

全部、嘘だったんだ

あの歌も、あの映画も、あの料理も

実はあんまり好きじゃなかった

君と一緒になることを決めたあの日
ずっと前から好きだった人がいたんだ
君のことなんて、眼中にないくらいにね

ごめんね

言い訳なんかしない方がいいんだらうけど
どうせ、この雨に流されるから

どうせ、この雨に流されるから

夢の中へ逃げる前に

愛してる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2989h/>

憂鬱な雨の日

2010年11月14日15時18分発行